



JA道東あさひ 営農センタープロジェクトより

1. プロジェクトの目的

サイレージの品質は購入飼料を削減する上で重要なポイントとなっており、農家経営へ多大な影響を及ぼしている。

道東あさひ管内（別海支所）のH20年度の粗飼料分析結果を見ても、アンモニア態窒素が『10%』を超えるサイレージは分析サンプルの1/3に達し、本年度これらを改善すべく、コントラクター・関係機関と連携し、良質粗飼料の確保を目指した。

2. 取り組みの経過

- 5月18日 組合員・コントラ・JA職員向け「サイレージ発酵品質」勉強会の開催
- 5月28日 コントラ及びオペレーターとの牧草収穫作業に向けた打合せ
- 6月18日 『サイレージ品質向上プロジェクト』巡回始動
- 7月18日 68戸を巡回
- 10月27日 サイレージサンプル回収と踏圧密度計測
- 12月25日 サイレージサンプル回収終了（65戸を巡回）
- 2月1日 サイレージ品質向上プロジェクト報告会

3. 取り組み内容

■ 原料草の水分確認



■ 原料草の濁度チェック



■ 切断長・切断面確認



■ 刈り取り高の確認



4. 取り組みによる改善調査結果

A) 粗飼料分析値による発酵品質の確認

プロジェクト取り組み巡回農家の発酵品質は、JA平均より改善傾向にありました。

	サンプル数	pH	水分	乳酸	酢酸	酪酸	アンモニア態窒素
JA道東あさひ	165	4.22	73.85	1.17	0.73	0.09	8.19
プロジェクト巡回農家	70	4.20	74.50	1.40	0.97	0.04	7.26

B) 踏圧密度の確認

目標とする踏圧密度150kgDM/m³を超える件数は全体（68サンプル）の87%と十分に鎮圧されていることが確認できました。

電動サンプラーの利用



重量を確認



5. 表彰

JA道東あさひ別海地区コントラクター連絡協議会会員に対し、発酵品質と踏圧密度の2部門で表彰を行いました。



コントラ業者さんの声

- ・ 取り組みを数値化して評価してもらったのが良かった。
 - ・ 今後の励みになる。
- などの声が聞かれました。